



在宅酸素療法 火気取扱注意特集

安全な在宅酸素療法のために 酸素吸入時の火気取り扱いに注意してください。

監修：京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学講師 室 繁郎 先生



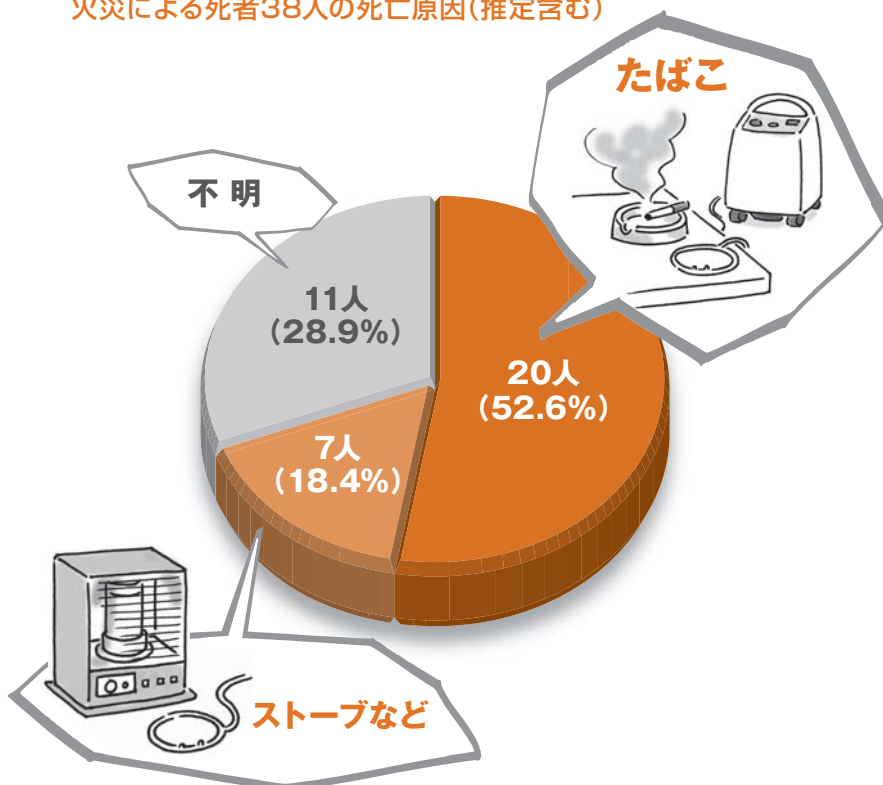
◆在宅酸素療法実施中の火気取り扱いに伴う火災が 後を絶ちません。

在宅酸素療法を実施している患者さまが、自宅における火災で死亡されるケースが増えています。統計を取り始めた2003年12月以降、火災で死亡された方は約9年間で38件にのぼっています(2012年12月現在・下図)。

その原因の半数以上がたばこの火によるものです。また、ストーブや仏壇の線香、ローソクの火などでも発生しています。これらは酸素吸入中に、たばこの火をつけたり、ストーブのそばに近づいたりすることで起きたと考えられています。

酸素吸入時の火気取り扱いには十分注意してください。

図 約9年間(2003年12月～2012年11月)における
在宅酸素療法を実施している患者居宅で発生した
火災による死者38人の死亡原因(推定含む)



出典：「在宅酸素療法を実施している患者居宅で発生した火災による
重篤な健康被害の事例」調査集計より作成
一般社団法人日本産業・医療ガス協会(2012年12月)

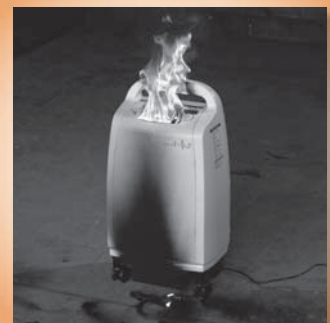
⚠ 注意：お気をつけください。

鼻カニューラに引火した様子



一般社団法人 日本産業・医療ガス協会
制作のDVDより転載

酸素濃縮装置の燃焼試験
(過熱検知機能がない場合)



2012年4月 群馬県一燃焼試験施設にて



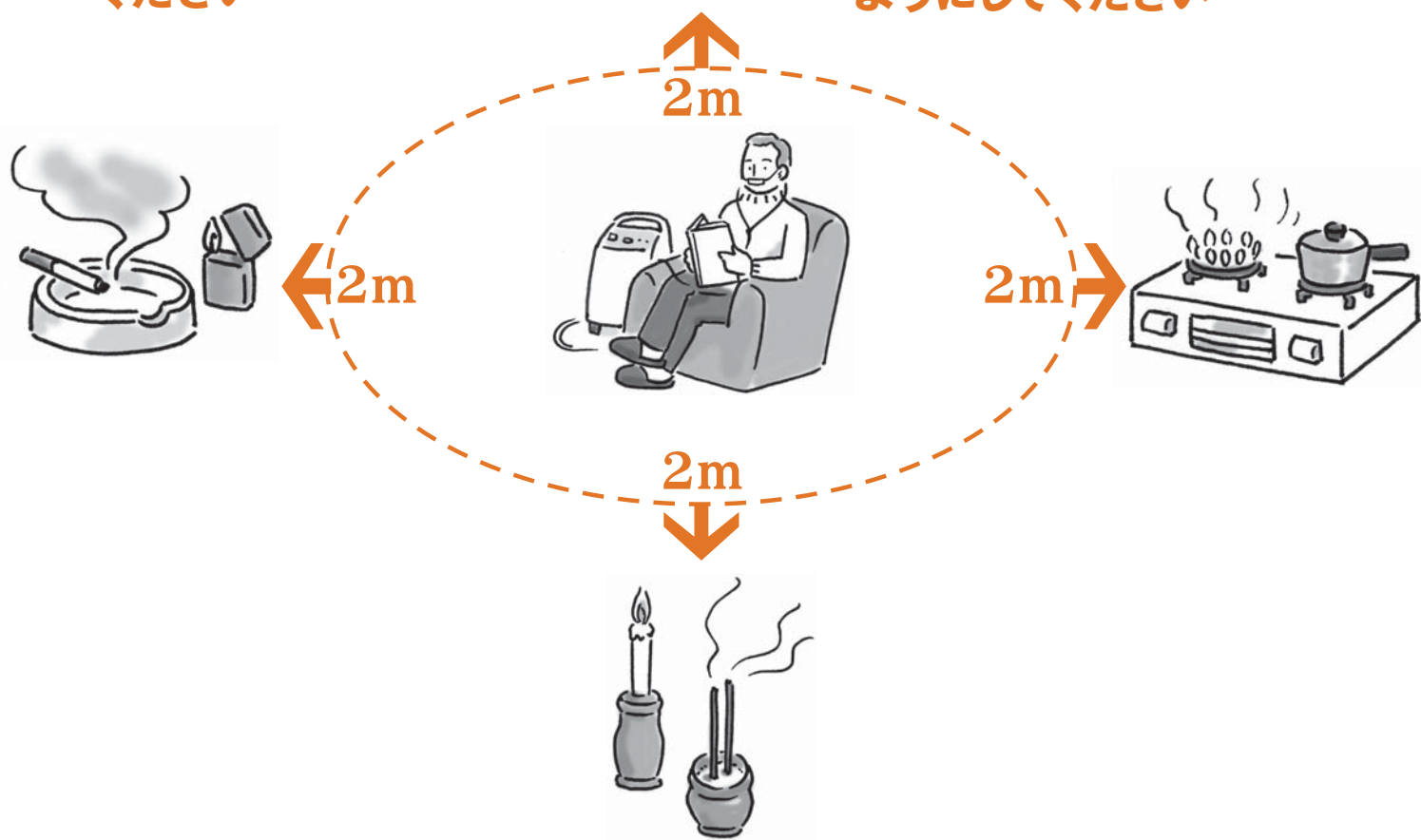
安全な在宅酸素療法のために

火気使用の際の注意点

- 火気から常に
2メートル以上離れて
ください



- 酸素濃縮装置の近くには、
燃えやすいものを置かない
ようにしてください



ポイント

- ① たばこは厳禁
- ② ストーブなどの暖房器具は注意が必要です
- ③ 炊事などでガスコンロ等に近づくことも危険です(電気調理器具のご使用をおすすめします)

酸素自体は安全でそれだけで燃えることはありません。

酸素は、それ自体は燃えませんが燃焼を助ける気体です。ライターの炎やたばこの火を近づけると、燃え方が大きくなる性質があります。ですから、酸素濃縮装置を使用しているときは、火気に近づかないことを心がけてください。